

第3回福島第一廃炉国際フォーラム について

2018年4月

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

大切なのは、地域住民の皆様が満足できる幸せな未来を構想していくこと

「伝える」努力と「伝わる」効果のミスマッチ。
地域住民の皆様が「伝わる」まで至っていない。
結果、「議論をし続けるコミュニティ」が生まれない。

これから、必要なのは
中長期的に取り組むべき課題を解決するために、
透明性の確保 & 地域住民の皆様の参画のもと事実を共有し、冷静で多様な議論の場を作ること。

そのうえで、地域住民の皆様が
満足できる幸せな未来を構想していくこと。

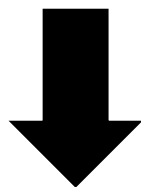
ぼいすふろむふくしま 2017より



「ここに生きる人の声」と「納得感」を得るための双方向対話



問う



答える

地域住民の皆様からの質問に廃炉関係機関の責任者が公開の場でしっかり納得いくところまでお答えする。

「ここに生きる人の声」と「納得感」を得るためのコミュニケーションとしての双方向対話の継続を目指しています。



参加者には、聞くだけではなく、発信していただきます



参加者同士で話し合い



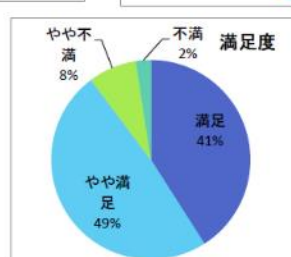
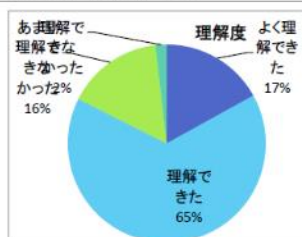
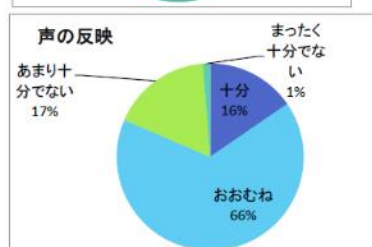
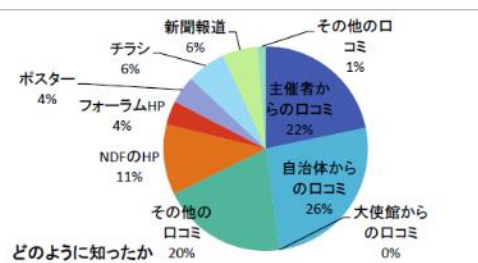
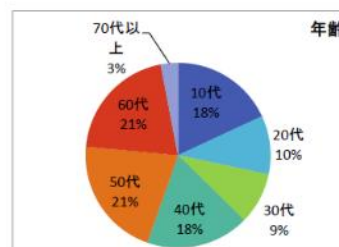
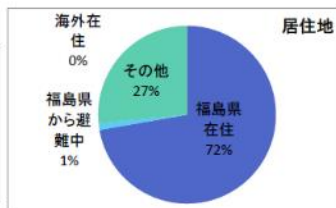
481名分の
廃炉への想い



116枚の
議論へのフィードバック

第2回福島第一廃炉国際フォーラム アンケート集計
DAY1

Q1	居住地	年齢
	福島県在住	112 10代 30
	福島県から避難中	2 20代 17
	海外在住	0 30代 15
	その他	41 40代 30
		50代 35
		60代 34
		70代以上 5
Q2	どのように知ったか	
	主催者からのロコミ	35
	自治体からのロコミ	42
	大使館からのロコミ	0
	その他のロコミ	32
	NDFのHP	18
	フォーラムHP	6
	ポスター	7
	チラシ	10
	新聞報道	9
	その他のロコミ	2
Q3	地元の声の反映	
	十分	25
	おおむね	107
	あまり十分でない	28
	まったく十分でない	2
Q4	理解・疑問解消へのつながり	
	よく理解できた	28
	理解できた	108
	あまり理解できなかった	26
	理解できなかった	3
Q5	満足度	
	満足	68
	やや満足	81
	やや不満	13
	不満	4
Q6	その他意見	
	別紙参照	



186名分の運営に対しての改善点などをお寄せいただいたアンケート

様々なタイミングで想いを残していただける仕組みを用意。

頂いた声に応えることも双方向対話の一環。

参加者の声 廃炉への思い（要望・疑問・不安・不満）

「福島第一廃炉国際フォーラム」を開催し、地域住民の皆様との対話による双方向コミュニケーションを図っています

- 「地元の皆さんと考える1F廃炉」と題した第2回福島第一廃炉国際フォーラムの1日目
- （2017年7月2日開催 於：広野町）には、地域住民の皆様を始めとした県内外から484名の方々にご参加いただき、廃炉への思い（要望・疑問・不安・不満）を色紙に書いて示していただきました。
- その結果はグラフのとおりです。

参加者（属性別構成率）

【住まい】

県内 58.5%
県外 39.2%（うち海外6.0%）
不明 2.3%

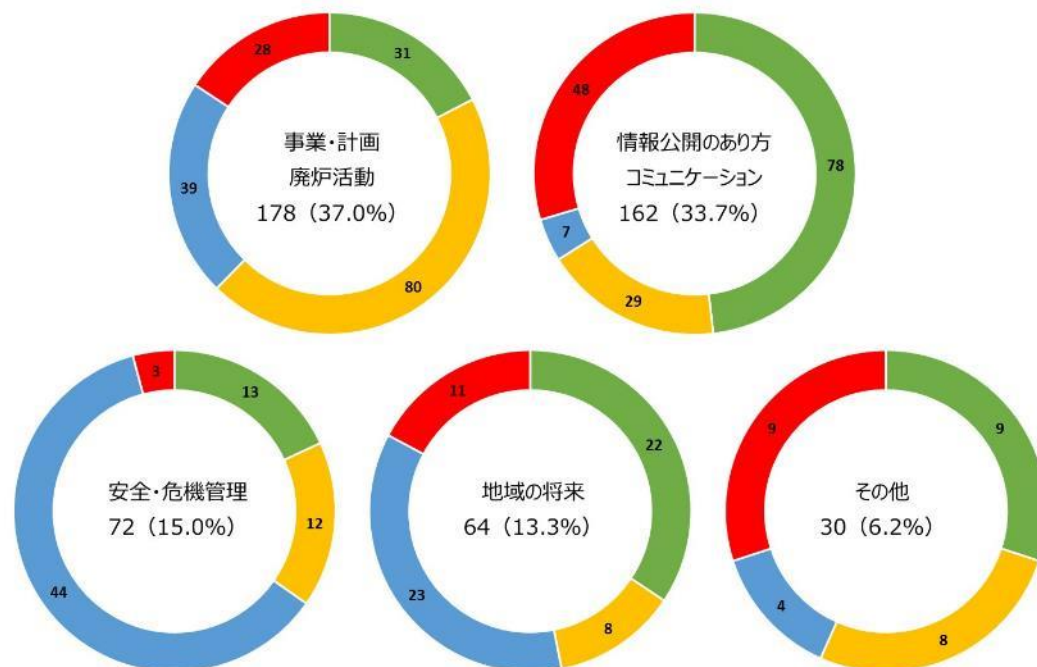
【年齢】

10～20代 13%
30～40代 15%
50～60代 30%
70代～ 3%
不明 39%

1. 廃炉への思い

要望 疑問 不安 不満

全481枚 506意見（複数回答あり）



参加者の声 廃炉への思い 具体的なご意見の紹介

廃炉への想いを一つ一つ拝見し、どのような想いをお持ちなのか分類ごとにメッセージをご紹介します

事業・計画・廃炉活動 178

廃炉活動は技術的に
本当にできるのか？
82

廃炉がいつ終わるか
わからない
61

困難な仕事なのに
責任主体が
明確でない
23

コストがかかりすぎるのでは
ないか？
なぜこんなにかるのか？
12

安全・危機管理 72

本当に安全なの？
また地震が来たら？
いつ安心になる？
58

安全第一で廃炉を
進めてほしい
14

地域の将来 64

将来の不安。
元の生活に戻りたいが
戻れない。
44

道が自由に通れない。
常磐線全線開通してない
文化的な暮らしを！
20

情報公開のあり方・コミュニケーション不足 162

正確な情報を分かりやすく
丁寧に情報公開してほしい。
もっと詳しく知りたいと思っている。
県外、国外にも、広く発信してほしい。
情報量はあるが、提供されている情報が
要望とミスマッチを起こしており不満。
90

対話の機会を要望
交流の意義や方法が疑問
現状へのフラストレーション
44

メディアの活用や
情報公開を
進めてほしいが
一部メディアの報道ぶりや
情報公開の方法に不満
28

その他 30

今のうちに
全数廃炉

特に
ないかも？

地元の人たちは
1Fの廃炉作業は
危険だと
おもっているか？

放射性物質
との共存
するには？

周りに合わせ
なければ
いけないのが
大変

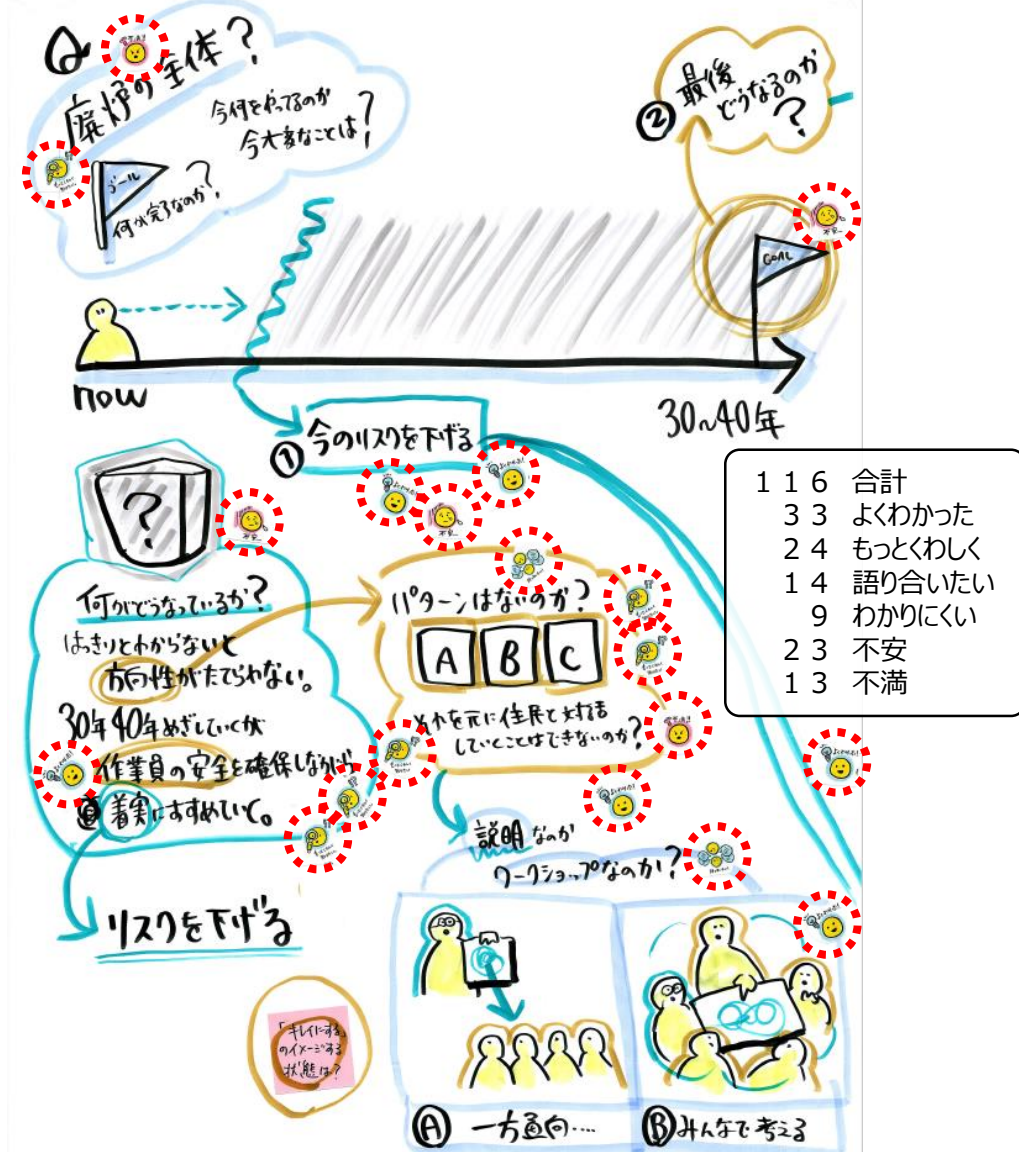
原発事故があり、
被害がどのような
ものかわかったのにな
ぜ再稼働させるの
か

沢山ありすぎて
書ききれない！

各町で復旧・復興が進められているが
再度、この地域を汚すことのない様に願う

など

参加者の声 フィードバックセッション分析 (シール総数: 116枚)



第2回福島第一廃炉国際フォーラム フォローアップミニワークショップ

第2回福島第一廃炉国際フォーラムを受け、地域住民の皆様との対話を継続していくため、同フォーラムを振り返り、次回フォーラムにつなげることを目的として、地域住民の皆様主体でのミニワークショップを開催

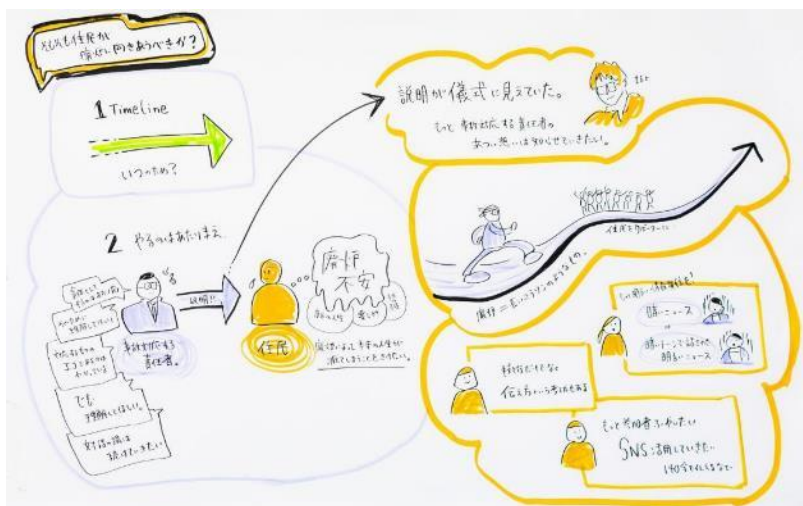
開催概要

参加人数：37名

日時：2017年11月24日 16時00分～18時30分

場所：福島県福島市置賜町1番29号 佐平ビル

内容：第2回国際フォーラムの概要と成果
第2回国際フォーラムに対する意見



フォローアップミニワークショップ
グラフィックレコーディングより

地域住民の皆様との対話を継続することの重要性を確認

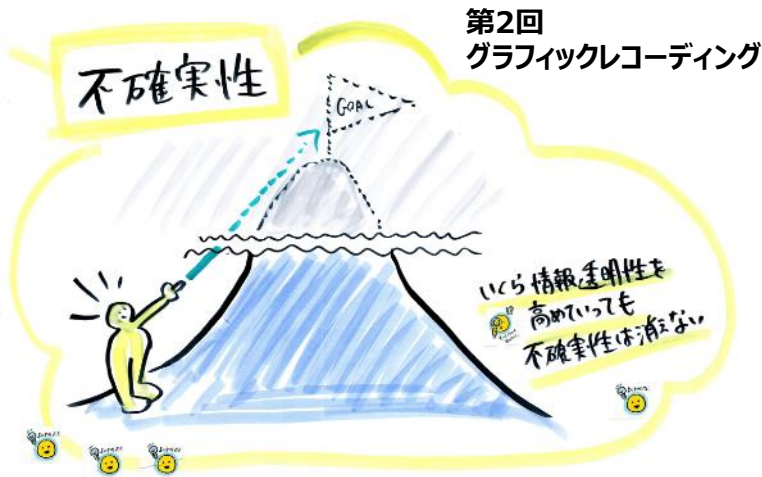


第3回国際フォーラムでも継続

第3回福島第一廃炉国際フォーラムの概要

2018年8月5日（日）**地元の皆様と考える1F廃炉** 楡葉町コミュニティセンター

- ・地域住民の皆様からのご質問に、福島第一廃炉関係者（東電、経産省、NDF）がしっかりと
お答えするとともに、それを通じて、廃炉関係者が地域住民の皆様の想いを知り、今後の廃炉を進める。



第2回
グラフィックレコーディング

2018年8月6日（月）**技術専門家と考える1F廃炉** いわき芸術文化交流館アリオス

- ・国内外の専門家が福島第一廃炉の最新の進捗、技術的成果を広く共有

ポスター及びロボット展示
・・・国内外の関係機関が参加

第2回の模様



フォーラム初日 概要

- ・ 地域住民の皆様からのご質問に、福島第一廃炉関係者（東電、経産省、NDF）がしっかりと
お答えするとともに、それを通じて、廃炉関係者が地域住民の皆様の想いを知り、今後の廃炉を進める。

8月5日（日） 楡葉町コミュニティセンター

※イメージ

地元の皆様と考える 1 F 廃炉

開会挨拶 NDF 山名理事長
基調講演 海外有識者（予定）

午前：「知る」「話す」セッション

昼食：地元食材を使った昼食提供/地域活動ポスターセッション

午後：「問う」セッション（廃炉関係者との意見交換）



「話す」



大ホール



「問う」



グラフィックレコーディング

第3回初日ポイント

- 1) 地元ファシリテーター
- 2) 地域活動ポスターセッション
- 3) ぼいすふろむふくしま 2018

地域住民の皆様の積極的参加（意見集約をお願い）
地元の復興に前向きな様々な活動を紹介
より「浜通り」、「若い世代」にフォーカス

フォーラム2日目 概要

- ・国内外の専門家が廃炉の最新の進捗、技術的成果を広く共有

8月6日（月）いわき芸術文化交流館アリオス

技術専門家と考える1F廃炉

- ・1F廃炉の最新状況の報告

メインセッション：

「福島第一廃炉を切り拓く遠隔技術」

- ・国内外の遠隔操作技術、ロボット技術の専門家を結集
- ・海外のクリーンアップサイトでの活用状況を幅広く紹介
- ・1Fでの最新の遠隔技術活用を経験を発表
- ・動画を積極的に活用
- ・遠隔技術の今後の活用について専門家間でパネルディスカッション

出典：いわき芸術文化交流館アリオスWebページ

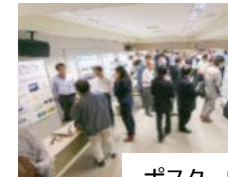


大ホール



メインセッション

※イメージ



ポスターロボット展示

ポスター及びロボット展示・・・国内外の関係機関が参加

学生向けセッション開催予定

…福島第一廃炉、福島県の復興について関心を持つ、大学生、高専生、高校生などが参加。
学生同士が廃炉・復興について語り合い発表を行うことで関心を高める。

同時開催：「福島復興学ワークショップ」…福島イノベーション・コースト構想の具体化に向け、浜通り地域等に関する県内外の研究者による研究活動の成果を広く共有。

参加希望申込受付中

第3回 福島第一廃炉国際フォーラム

皆様の声を福島第一(1F)廃炉の力にする

楢葉町・
いわき市で
開催!!

The 3rd International Forum on the Decommissioning of
the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station

NDF原子力損害賠償・廃炉等支援機構
Nuclear Damage Compensation and Decommissioning Facilitation Corporation

2018年
8月5日(日)

地元の皆様と考える1F廃炉

会場 楢葉町コミュニティセンター

〒979-0604 福島県双葉郡楢葉町大字北田字盤堂5-4

午前

「知る」「話す」セッション

1F廃炉の今を知り、みんなで話しあおう!



午後

「問う」セッション

皆様の率直な疑問をぶつけてみよう!



主催 原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)

協力機関 日本原子力研究開発機構(JAEA)、国際廃炉研究開発機構(IRID)、
駐日英国大使館、駐日仏国大使館、駐日米国大使館、東京電力ホールディングス(TEPCO) (予定含む)

後援機関 関係省庁、福島県、いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、
双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、福島大学、福島工業高等専門学校、
福島民報社、福島民友新聞社、日本原子力学会、日本原子力産業協会 (予定含む)

事前登録制

参加費無料

2018年
8月6日(月)

技術専門家と考える1F廃炉

会場 いわき芸術文化交流館アリオス

〒970-8026 福島県いわき市平字三崎1-6

国内外の専門家による1F廃炉の
最新状況、関連技術の報告及び意見交換

午前・午後

- 1F廃炉の最新状況の報告
- メインセッション
「福島第一廃炉を
切り拓く遠隔技術」
- パネルディスカッション
- 技術ポスターセッション
- 学生向けセッション

テーマ:

「福島の実状から自分の、
日本の未来を考えよう」

同時開催:「福島復興学ワークショップ」

福島イノベーション・コースト構想の具現化に向け浜通り地域等に
関する県内外の研究者による研究活動の成果を広く共有。

日英同時通訳あり

ホームページ
はこちら!



第3回国際フォーラム 参加希望申込受付中!

<http://www.ndf-forum.com>

第3回 福島第一廃炉国際フォーラム

皆様の声を福島第一(1F)廃炉の力にする

2018年8月5日(日)

楢葉町コミュニティセンター (福島県双葉郡楢葉町)

2018年8月6日(月)

いわき芸術文化交流館アリオス (福島県いわき市)

NDF原子力損害賠償・廃炉等支援機構
Nuclear Damage Compensation and Decommissioning Facilitation Corporation

English



※第2回国際フォーラム
のまとめサイトも公開中

参加希望のお問合せ

お問合せいただければ、より詳細についてご紹介させていただきます。

【お問合せ窓口】

第3回福島第一廃炉国際フォーラム事務局

TEL : 03-5348-3500 FAX : 03-5348-3799

E-mail : forum-fukushima@tobutoptours.co.jp

営業時間: 平日9:30-18:30 土・日曜日、祝日休業

ご参考

地域住民の皆様・自治体への説明の一例

- 機構は、地域の様々な立場の地域住民の皆様との双方向のコミュニケーションの充実を図るために、地域住民の皆様・自治体への説明会への参画などを通じて対話を実施中

➤ 地域住民の皆様向け説明

内容	実施時期
(南相馬市) 住民説明会への参画	平成28年9月 平成29年3月 平成29年9月 平成30年3月
(福島県) 廃炉安全確保県民会議への参画	平成29年9月
(広野町) 国際フォーラムへの参画	平成29年10月

➤ 自治体向け説明

内容	実施時期
(福島県、いわき市及び被災12市町村) 戦略プラン作成に係る内容説明	過去3回実施 (戦略プラン2015、2016、2017)
(富岡町) 職員等説明会	平成28年10月
(浪江町) 職員等説明会	平成28年11月
(葛尾村、広野町、楡葉町) 職員等説明会	平成30年 1月
(田村市) 職員等説明会	平成30年 2月

(※) 被災12市町村：田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

今後も、このような取組を継続して実施していく